

# 事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号	0110/100575/12/00	事業の種類	4
年度	19	事務事業名	緑化推進事業	作成日	平成21年1月20日
重要度	3	予算事業名	緑化推進事業	担当部課名	まちづくり推進室
政策名	環境にやさしい、うるおいのあるまちづくり				
施策名	都市緑化	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	うるおいとやすらぎを与え、みどり豊かなまちづくりを進めるため、市民への緑化に対する関心を高め緑化の普及、啓発を図る。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市花と緑の協会に委託し、市内のフラワーポット、花壇の維持管理、配布用の苗木栽培、ガーデニング講習会の実施を行っている。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	講習会開催回数	回	4	6	4	4
	市内花苗植栽数	株	3,394	4,062	4,094	5,000

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3
	主幹以下職員	0.450	0.450	100.0	0.300	66.7	0.250	83.3
	臨時職員	0.075	0.075	100.0	0.130	173.3	0.070	53.8
支出内訳	人件費	5,133,670	4,771,969	93.0	3,680,315	77.1	3,037,625	82.5
	事業費	2,674,260	2,304,392	86.2	1,305,120	56.6	1,206,000	92.4
	合計	7,807,930	7,076,361	90.6	4,985,435	70.5	4,243,625	85.1
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	7,807,930	7,076,361	90.6	4,985,435	70.5	4,243,625	85.1
	合計	7,807,930	7,076,361	90.6	4,985,435	70.5	4,243,625	85.1

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	ガーデニング講習会開催回数								
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	6	150.0	4	66.7			
指標名2	市内プランターに植栽した花苗数								
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
株	目標	3,300	4,000	121.2	4,000	100.0	5,000	125.0	
	実績	3,394	4,062	119.7	4,094	100.8			

【効率性】

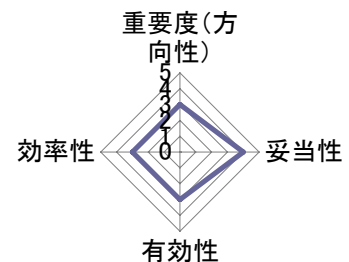
指標名1		事業費に係る花苗購入費の割合							
指標説明(式)		花苗購入費÷事業費							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
%	実績	—	12.85	#####	21.29	165.7	30.71	144.2	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	うるおいとやすらぎを与え、みどり豊かなまちを実現するためには事業の推進は不可欠。	3	4
	市民ニーズ	ガーデニングブームは下火にたりつつあるが、自分の家を花で美しくしたいと思っている潜在的な人は多いと考える。		
有効性	成果目標(改善)達成度	より多くの人数に参加してもらえるように講習会のPR方法を改善した。	4	3
	市民サービス	時代の流れに常に対応した、花苗の配布や講習会の開催が不可欠である。		
効率性	コストの節減	市内に設置している花壇・プランターを集約して効率的な管理を検討する必要がある。	3	3
	手段の最適性	これまで花と緑の協会だけに委託してきたが、より柔軟な事業推進を検討する必要がある。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	



7 H19→H20予算反映額

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

実施年度	具体的な評価観点	内容
有効性	コストの節減	管理が不十分な花壇・プランターの設置を見直し、より効率的な事業推進に努める。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

委託内容の見直しによる事業の効率化に努める。
------------------------

検討の有無	—
総合指標	18